

十日町西部地区振興会 地域自治推進計画

1. 計画期間 令和6年度 ～ 令和8年度 (3か年)

2. 十日町西部地区の現状

十日町西部地区は、中心市街地の西側に位置し、関東・北陸方面からの玄関口であるほくほく線十日町駅を中心に16町内(1,163世帯、2,825人)で構成されている。

西部地区は、県立十日町病院、県立看護学校、総合体育館、情報館、博物館をはじめ数多くの公共施設が点在するとともに、土地地区画整理により新たに形成された住区における新築住宅の増加や下島地区には大型ショッピングセンター等の商業施設進出など発展が続いている。

このため、地区住民の利便性を図るためアクセス道路等の整備や交通安全・防犯施設の整備など安心・安全への取り組みを継続するとともに、コミュニティの更なる醸成と健康福祉や体力の向上を一層図る必要がある。

また、空き家対策や少子化対策など新たな課題に対応していく必要がある。

3. 十日町西部地区の課題

- (1) 道路整備等(道路改良、修繕)
- (2) 交通・防犯施設整備(信号機、停止線、街路・防犯灯)
- (3) 除雪対策(流雪溝、消雪パイプ、雪壁除去)
- (4) 西部会館の改築

4. 十日町西部地区の将来像、目標

- (1) 地区コミュニティの維持(居住住民数の増加)を図るため、アクセス道路整備など地区の利便性の向上を推進し、選ばれて住み継がれる地域づくりを目指す。
- (2) 地区情報の積極的な収集・発信、防災・防犯活動の継続実施、健康維持のためのスポーツ・健康づくり活動の推進などを通じ、地域住民がより安心・安全で健康に暮らせる地域づくりを目指す。
- (3) 世代間や新旧住民の更なる交流を図るため、地区住民が楽しんで参加できる各種イベントを開催し、より一体感のある地域づくりを目指す。

5. 十日町西部地区の基本方針

- (1) 市道稻荷町線の拡幅改良の促進
- (2) 市道の舗装等路盤改修の促進
- (3) 地区の防犯・防災・交通安全等の確保のための街路灯・交通安全施設(右折信号機、停止線)の整備

- (4) 冬期間の除雪に関する課題解消のための取り組み
- (5) 県立十日町病院の周辺道路・流雪溝等の整備
- (6) 西部会館の改築の促進
- (7) 地域住民の親睦融和と防災教育のための各種事業の実施
- (8) 地域の安心・安全の確保に資する各種事業の実施
- (9) 地域住民のスポーツ・健康づくりに貢献するための各種事業の実施
- (10) 地域情報の発信等による地区の活性化
- (11) 振興会事業の円滑実施のため組織の在り方の検討

6. 事業の実施計画

別紙「十日町西部地区振興会 自治推進計画体系表」
(令和6年度～令和8年度)を参照